

気候変動問題の解決に向け
「2050年カーボンニュートラル」が
世界共通の目標に

- ☑ 国は2050年までにカーボンニュートラルを目指す
- ☑ 道は「ゼロカーボン北海道」の実現を目指す
北海道の温室効果ガス排出量を2013年度比で
 - ①2030年度までに48%削減
 - ②2050年までに実質ゼロ
 合わせて持続可能で元気な北海道づくりを進める
- ☑ 4月、G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合開催
- ☑ 根室管内全市町「ゼロカーボンシティ」表明

「ゼロカーボン北海道」の実現のため
地域でできることを地域全体で取り組む
それが「ゼロカーボンねむろ」

- 根室地域として「ゼロカーボン北海道」実現に向けて
取り組むためには、管内1市4町、振興局をはじめ、
関係機関・団体や事業者、住民の皆様が一丸となって、
一緒に考え、行動することが必要です。
- 未来の北海道、根室地域のために、
地域のポテンシャルを活かし、日々の生活から
一人ひとりがゼロカーボンを意識して、
「ゼロカーボンねむろ」に取り組みましょう。

「ゼロカーボンねむろ」の重点的な取組（イメージ）

ゼロカーボンに向けた
豊富なポテンシャル

脱炭素

- ・農業分野の温室効果ガス削減に向けた調査研究
- ・公共施設の照明LED化
- ・公共施設のZEB化
- ・公用車のEV化
- ・EVコミュニティバス導入

CO2吸収源

- ・計画的な森林整備、適切な森林管理
- ・河川や森林環境の保全
- ・林業経営支援
- ・藻場の保全・回復

再生可能エネルギー

- ・バイオマス資源循環地域形成の取組
- ・地熱開発調査の支援
- ・太陽光発電施設の適正な設置管理の推進

その他

- ・地球温暖化対策実行計画策定・見直し
- ・住民の理解促進
- ・地域人材の育成



根室市

住民

別海町

関係機関等

地域一丸となって進める

中標津町

標津町

羅臼町

振興局

地域みんなで「ゼロカーボンねむろ」に取り組み、
世界に誇れる根室地域の自然を守り、
持続的に発展することができる地域の実現を目指す



ねむろ地域のゼロカーボンポテンシャル



ゼロカーボンねむろ共同メッセージ

温泉熱

今後のエネルギー利用

温泉以外の余った熱エネルギー

- 生活
- 産業
- 発電

温泉熱エネルギーは様々な用途で、利用可能なポテンシャルがあり、今後活用できる可能性があります。

ブルーカーボン

広い海岸線 全道の約16% (479 km)

CO₂ 水に溶けやすい + 海藻類の光合成

同じ面積の森林の約2.4倍のCO₂吸収能力!

「北海道開発局 昆布漁場におけるブルーカーボン貯蓄評価の試み」より

家畜ふん尿バイオマス

日本有数の酪農地域を構成!

生乳生産量・飼養頭数・出荷頭数は道内の約1/3を占めます(道内1位)

私たち根室地域の1年間で排出される家畜ふん尿 317万t 道内の約15% (令和元年度)

家畜ふん尿1tから得ることができる推定エネルギー量は (ふん尿1tあたり約160~190kwh)

「農業機械学会誌第66巻第1号(2004)家畜ふん尿のエネルギー利用とその課題 -メタン発酵によるエネルギー利用-」を参照

1世帯が半月以上も生活できるエネルギー量に相当します!

※使用時間・増地による

「令和2年度北海道家庭用エネルギー消費実態調査」を参照



木質バイオマス

豊かな森林 (グリーンカーボン)

森林がCO₂を吸収してくれるのでござる!

生活で出るCO₂を吸収するには、たくさんの樹木が必要です。根室地域は面積の約半分(約49%、17万9千ha)が森林です!

たくさんの森林がある根室地域はゼロカーボンのポテンシャル(潜在的可能性)がとても高いと言えます!

一年の道民一人あたりの生活でのCO₂排出量約3.11tは、トドマツ(樹齢約30年)約900本のCO₂吸収量に相当

(参照)「森林のもつ二酸化炭素の吸収・貯蔵機能について -北海道水産林務部林務局森林計画課-」

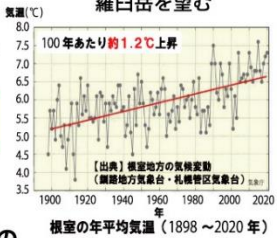
ゼロカーボンねむろの推進に向けて

◆世界自然遺産「知床」、ラムサール条約に登録された「野付半島」や「風蓮湖」など、根室地域の世界に誇れる自然を守っていくこと、それが私たちの使命です。



羅臼岳を望む

◆しかしながら、近年の地球温暖化により、私たちの生活や自然環境に影響が出ています。



地球温暖化により「大雨による被害」「サンマやサケの不漁」などが発生しているのではないかとされています。

◆このため、北海道では、地球温暖化を食い止めるため、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を減らし、吸収量とバランスをとることで、2050年までに排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボン北海道」の実現を目指しています。



ゼロカーボンのイメージ

◆こうした中、私たちの根室地域は「再生可能エネルギー」を活用して排出量を減らしたり、森や海を活用して吸収源を確保する潜在力の高い地域であり、令和3年3月の羅臼町を皮切りに、令和5年3月までに根室市、別海町、中標津町、標津町でも「ゼロカーボンシティ」を表明しました。

【再生可能エネルギー】
「風力」・「バイオマス」
「地熱」「温泉熱」など。

【吸収源の確保】
「植林や森林管理」
「ブルーカーボン」など

◆根室全域でゼロカーボンを目指すことを表明した今、行政をはじめ、関係機関、団体で事業者、住民の皆様が一丸となって、地域でできることを地域全体で進める「ゼロカーボンねむろ」に取り組んでいきましょう。



【日常生活の中でもゼロカーボン実現のためにできること】
「こまめな消灯」「マイバッグの利用」「地元食材を選ぶ」など

【令和5年4月1日】
根室市長 石垣 雅敏 別海町長 曾根 興三
中標津町長 西村 稯 標津町長 山口 将悟
羅臼町長 湊屋 稔 根室振興局長 岡嶋 秀典

【問合せ先 北海道根室振興局保健環境部環境生活課 ☎0153-23-6821】